

# 春先除草の徹底でカメムシ増殖抑止！

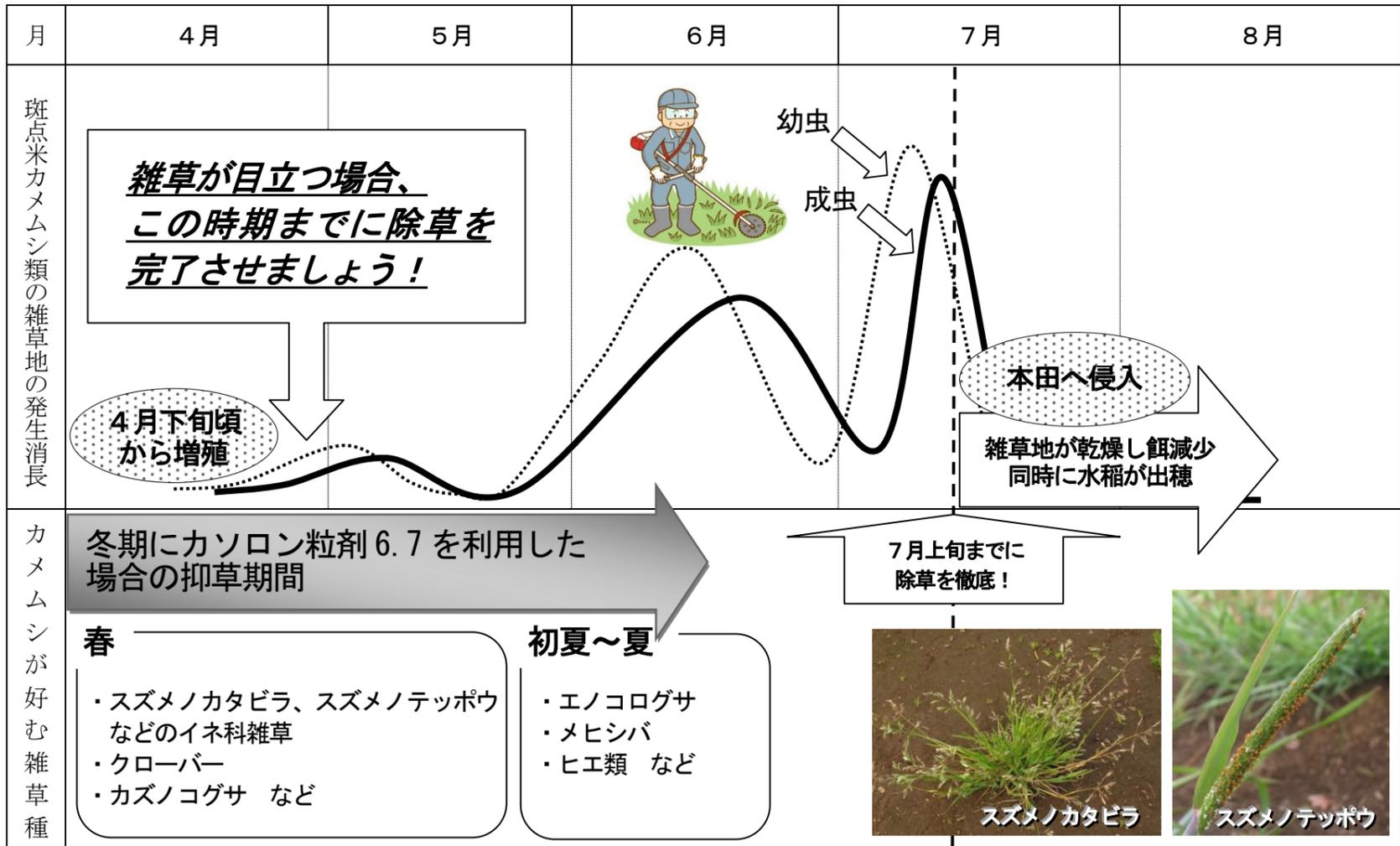
カメムシの生息数は近年増加しており、昨年は県全体で平年の3.3倍と多発しました。特に、早生の「ゆめみづほ」は靱割れが多く発生したため、部分カメによる落等が助長されました。

春先にカメムシの生息地となる畦畔、農道の雑草が多い場合は、4月中の除草に努めましょう。

## 斑点米発生防止の春作業時期ポイント！

4月中の除草（その後、6月頃の除草＋7月上旬の仕上げ除草を実施）

※地域ぐるみの一斉防除を実施しましょう。



(参考) 27年度産米の主な落等理由（白山市および野々市市）

コシヒカリ	①部分カメ (2.4%)	②乳白粒 (1.3%)	③胴割粒 (0.8%)
ゆめみづほ	①部分カメ (23.7%)	②胴割粒 (0.2%)	③異種穀粒 (0.1%)

(参考) 石川県に多く生息する斑点米カメムシ類

	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	トゲシラホシカメムシ	ホソハリカメムシ
形				
態	<ul style="list-style-type: none"> <li>体長：5～6mm</li> <li>緑色で赤いヒゲが特徴</li> <li>飛翔性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体長：4.6～6mm</li> <li>黄緑色で背中赤いスジが特徴</li> <li>飛翔性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体長：4.5～7mm</li> <li>淡褐色で黒い点刻あり</li> <li>歩行性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体長：8.5～11mm</li> <li>黄褐色で肩の先端が尖る</li> <li>飛翔性</li> </ul>

カメムシの写真：石川県病害虫診断防除ハンドブックより

※斑点米カメムシ生息数低減調査のため、カソロン粒剤6.7による除草試験を下記地区で行っています

- ・JA白山蝶屋支店 美川地区
- ・JA白山鶴来支店 明島地区
- ・JA松任北星支店 旭地区
- ・JA松任中央支店 一木地区
- ・JA松任西南支店 上柏野地区
- ・JA松任西南支店 笠間地区
- ・JAののいち本店 蓮花寺地区